



埼玉県第7区  
川越市・富士見市  
衆議院議員

# こみやま 泰子



【こみやま泰子 プロフィール】

1965年生まれ、川越市出身。慶応義塾大学商学部卒、日本大学大学院修了。NTT社員、埼玉県議会議員（2期）、2003年11月衆議院議員初当選、2021年10月7期目当選。  
公職：衆議院国土交通委員、震災復興特別委員、元農林水産委員、国土審議会委員  
立憲民主党：国土交通・復興部門長（『次の内閣』国土交通・復興ネクスト大臣）、埼玉県総支部連合会代表、埼玉県第7区総支部長  
各種団体等：川越商組合顧問、埼玉県映画協会顧問、川越市少年野球連盟顧問、川越市ソフトボール協会顧問、裏千家淡交会埼玉西武支部副支部長、全公連顧問、埼玉土地家屋調査士政治連盟顧問、社会福祉法人誠豊会評議員、他  
好物：パスタ、納豆 趣味：茶道（裏千家）、華道（小原流）

小宮山泰子事務所

〒350-0043  
埼玉県川越市新富町 1-18-6 戸田ビル 2F  
TEL：049-222-2900 FAX：049-225-2001



いよいよ埼玉県出身の渋沢栄一翁の壹万円紙幣使用が始まります。

慶應義塾大学卒業生としては、福澤諭吉先生の時代が終わるのは少々寂しい気もしますが、実は旧札の使用期限は基本的にないので、両方とも使えるので一安心です。さて、円安が止まりません。失われた30年で疲弊した日本経済、そしてドル160円代に入り、輸入原材料、エネルギーコストの高騰など、課題山積にもかかわらず、与党自民党は約3ヶ月後の9月末の自民党総裁選挙に向けた党内権力争いにばかり関心が移っている様子です。国民の生活が第一の政治を行うため、この夏は、政権交代後を見据えての政策づくりや、これからも“身近な政治”を共有して頂ける企画も進めてまいります。

◆「裏金国会」第213回通常国会が閉会

1月から始まった通常国会が6月21日に実質閉会しました。昨年末時点では、2024年問題といわれる、労働問題、中小企業対策が大きく取り上げられる国会になると考えていましたが、今国会、元旦に発災の能登半島地震で表面化した日本のインフラの脆弱性問題、自民党の政治と金の問題が大きくなどが話題の中心となった。この他、今後の日本の在り方に影響を与える農

業基本法改正、出入国管理法、子どもの貧困解消法改正、建築業法改正等、大きな改正もありましたが、残念ながら報道にはさほど取り上げられませんでした。

◆データが物語る。

“野党は反対ばかり”は印象操作

通常国会で、立憲民主党は政府提出法案に81.97%賛成（賛成50法案、反対11法案）。通常、共産党も50%以上賛成しています。

【内閣提出法案等と立憲民主党の賛否】

法案	内容(今後、懸念される課題など)	立憲民主党の対応
重要経済安保情報保護活用法(セキュリティークリアランス制度)	経済安保分野の重要情報に触れる資格を認定する適正評価制度の創設	修正のうえ賛成
改正子ども・子育て支援法	総額1兆円を財源の一部を公的医療保険に上乗せ徴収する“事実上の増税”になる支援金制度を2026年に創設	反対
子ども性暴力防止法(日本版DBS)	子供に接する職場で働く人の性犯罪歴を確認。判断基準が決まっていないこと、対象職場に学習塾などが無いなど	賛成
改正民法	共同親権を可能とする民法改正	修正のうえ賛成
改正地方自治法	非常事態に国が地方に対応を指示で来るため、政権の恣意的な運用により指示権の乱用の懸念	反対
改正出入国管理・難民認定法(入管難民法)	外国人労働者の長期就労につなげるための育成就労制度の創設。永住許可取り消し規定に不安の声	修正のうえ賛成
改正食料・農業・農村基本法	基本理念に食糧安全保障の確保を追加。国による農産物の価格形成への関与に小売事業者が反発	反対 ※立憲、有志の会修正案は否決
改正建設業法	建設業は発注者に対し弱い立場にあり固定化した長時間労働、低賃金の処遇改善と働き方改革を進め、担い手確保を目指す	賛成
改正政治資金規正法(自民他提出 議員立法)	政治資金パーティ券購入者の公開基準5万円に引き下げ。抜け道多く実効性に疑問	反対

私たちが反対した農業基本法改正案などの理由や検証はほとんどの報道で見ることありませんので、何でも反対は印象操作か、データを見ることなく先入観に基づく発言なのではないでしょうか。

現在の国会審議の問題は、唯一の立法府でありながら、議席を多く占める政権与党が審議する法案や内容を自分たちの都合で決めている点だと思います。

その結果、野党が法案を提出しても、報道に流れることで社会的な争点にされたら困る法律案（選択的夫婦別姓など）については、議題にのせず（吊るし法案）、審議入りされないというのが現実です。

#### 【小宮山が今国会、提出者となった法案】

- ◎有人国境離島法改正法案
- ◎手話言語法案
- ◎G I D 特例法改正法案 など

### ◆自民党政治と金の問題、原因解明から 逃げる与党自民党 国民の義務 真っ当に納税を！

今国会は自民党派閥の裏金問題から、1994年成立の政治改革関連法改正で積み残した「企業団体献金禁止」と「情報公開」に議論が集中していましたが、政治を理由に、パーティ券収入を隠し裏金にしたことが問題で、企業や個人が所得隠しを行えば脱税に問われ、追徴課税あるいは逮捕に至るものの、自民党議員は収支報告書の訂正で済まされており、例えば使途不明でも、非課税になる、“自民党・上級国民”に対する憤り、不公平感が本質でしょう。

議員個人への還流は政治資金規正法違反となりますが、裏金自民党議員は、政治活動の証明が出来ない使途不明金は、雑所得として、今からでも

真っ当に納税すべきです。

有権者は時間が経てば、これまで同様あまり問題視されなくなり、事実上許されるというような自民党お馴染みの常套手段を、もう終わりにさせましょう。

### ◆小宮山泰子が国会質疑で感じること

今国会、国土交通委員会で、建設業法改正、都市緑地法など質疑に立ち、また、決算行政監視委員会の質疑は、NHKでの生放送もされました。

選択的夫婦別姓の法改正は、28年前に法制審議会で国会に改正がゆだねられ、立憲民主党も民法改正案を衆議院に提出済です。

6月10日には経団連からも対応を求められていますが、岸田総理の答弁は従前と変わらず“検討”止まりでした。

私・小宮山の6月17日決算行政監視委員会での質疑以前までについて国会会議録検索で、今国会のみ「岸田文雄 検討」の検索をすると、該当会議録：29件 / 該当箇所：173との結果でした。私の質疑21分間にも、複数回“検討”と答弁していましたので、さらに多くなります。

岸田総理だけでなく、自民党総裁としての“先送り”“自己都合優先”姿勢の表れでしょう。

また以前より与党自民党議員の課題解決力、質問力が低下しているようで、地元へのアピールや官僚主導の質疑が色濃くなっており、これでは近郊ある日本国土の発展も市民生活の向上も見込めないと確信しています。

これまでの政治が、人を蔑ろにして、“利益・利権優先”が日本を脆弱な体質にしたのではないのでしょうか。

改めて「ひとからはじまる経済再生」。

小宮山泰子は、人に寄り添い、自然と共に地域に寄り添う政策実現を目指していこうと決意した今国会でした。

### こみやま泰子 活動ライブラリー

お寄せいただいた声を大切に活動してまいります。

